

## 平成 27 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

### 1. 学校概要

学校名 東京学芸大学附属大泉小学校

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫教育  
☐ 中学校 ☐ 中高一貫教育 ☐ 高等学校  
☐ 教員養成 ☐ 技術/職業教育  
☐ 特別支援学校 ☐ その他 ( )

所在地 〒178-0063  
東京都練馬区東大泉 5-22-1

E-mail kikunoko@u-gakugei.ac.jp

Website [www.es.oizumi.u-gakugei.ac.jp/](http://www.es.oizumi.u-gakugei.ac.jp/)

児童生徒数 男子 295 名 女子 291 名 合計 586 名  
 児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- ☐ 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- ☒ 国際理解
- ☒ 世界遺産
- ☒ 平和・人権
- ☒ 環境
- ☐ 気候変動
- ☐ 生物多様性
- ☐ エネルギー
- ☐ 防災
- ☒ 食育
- ☒ 伝統文化
- ☐ そのほか ( )

### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

#### (1) 東京韓国学校との交流授業

- ・年間2回の交流授業。
- ・1回は本校に招待。「日本の遊び、日本の食べ物紹介、餅つき大会」  
もう1回は韓国学校へ出向き、遊び、文化体験をする交流  
韓国の遊び、文化（衣装などを着る）、民族舞踊を見せてもらう等

#### (2) 留学生・外国との交流活動

- ・4, 5年生による「レッツ・トライ」  
(留学生グループ)  
少人数のグループに留学生を2名ずつ程度招き、互いの国の文化を伝えあうためにプレゼンテーションをしたり、料理や遊びで交流したりする。
- (アニメグループ)  
自分たちが作成したアニメをフランスのアヌシー市の小学生に送り交流する。言葉が通じない部分を表現でいろいろと工夫し、仲良くなるための工夫をする。
- ・1年生による「菊の子カーニバル」  
留学生から様々な国の文化を教えてもらい、それを元にして興味をもった国の遊びや踊り、ゲームなどをカーニバル形式で準備し、留学生を招待して楽しむ活動。

#### (3) 移動教室におけるフィールド学習

- ・移動教室で行く地域（富浦・箱根・日光）の歴史、文化、自然環境、特産物などについて、自分が興味をもったテーマから課題を設定し体験を通して追究活動を行い、問題解決や学びを深めていく活動。  
現地では、専門家を指導者として依頼し、グループごとに体験活動を行い、戻ってから成果の発表会を行う。

#### (4) スポットガイド日光

- ・6年生移動教室で出かける日光東照宮（世界遺産）についてグループごとに調べ、現地で飛び込み的に観光客（外国人を含む）に声をかけ東照宮についてのガイド活動を行う活動。英語活動で事前に使える英語を学習し、外国人観光客にも積極的に声をかけるようにする。

#### (5) PYP（国際バカロレア教育プログラム）と学習指導要領の融合を目指したカリキュラム開発

- ・グローバル人材育成の観点から注目されている「国際バカロレア（IB）」教育のPYP（Primary Years Program）という小学校年次に帯するプログラムがある。本校ではこのPYP理念を学習指導要領に取り入れた新しい小学校教育過程の開発に本年度より取り組んでいる。

※資料として、PYPで目指す学習者像（児童像）、目指す態度を示したポスター（児童に提示するもの）、本年度の実践の中で、中学年分科会の「MATSURI」の実践報告を別送で添付致します。

（６）国際学級における総合カリキュラム

- ・本校では、３年生以上に海外生活経験児童で構成する国際学級がある。主に日本の学校への早期適応を大きな目的とし、少人数で日本語や漢字の指導を行ったり、日本の伝統文化に触れたり、自分たちが経験した海外のことをプレゼンテーションしたりする総合学習を行ったりしている。一部の教科や学年の行事は一般学級の児童と共に活動をし、互いに葛藤を乗り越えながら異なる文化の経験を交流し合う場を保障している。

上記に報告した実践は、既にカリキュラム化され、５～２０年以上定着して行っているカリキュラムのため、毎年報告内容が同じようなものになります。

（２）活動時間について（下記から選択して下さい。）

- ☒ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- ☐ 時間外活動の時間を使用
- ☐ ユネスコクラブの活動として実施
- ☐ その他（）